

《Q》各学校の体育館に、冷房機の設置など対策が必要では
《A》今後も猛暑が想定され冷房機の導入など検討する

西川 美佐保 議員（公明党）



近年の異常な暑さ対策
質問 各学校の体育館は、災害時の避難所でもあり、今後、冷房機の設置など対策が必要では。
教育長 今後も猛暑が続くことが想定され、冷房機の導入など、暑さ対策を検討していく。

学童期などの子育てをさらに応援する取組みを
①学童クラブについて
質問 広い場所で子どもたちが遊べるよう、学校での学童クラブ設置を検討し、可能なところから設置しては。
市長 「子育てのしやすさで輝くまち」の実現に向け、学童クラブの需要を適切に見極めながら、増設や他の公共施設の活用等総合的に検討する。

質問 学童クラブに日曜、祝日、夜間等の実施を望む声があるが、対応する考えは。
市長 市民ニーズを十分に見極め、課題や効果を整理した上で検討する。

質問 発達に課題のある子どもたちへの学童クラブでの対応に対し、幼稚園・保育園等と同様に巡回相談ができる体制が必要では。
市長 教育委員会や学校と連携・調整を図りながら、必要に応じて、学童クラブ支援員への助言も行っていく。

②不登校の子ども達への対応について
質問 学校適応指導教室（ハーモニースクール・はむら）のことが、保護者にあまり知られていない。先生や保護者に直接PRする機会が必要では。
教育長 教育相談を通して、必要となる児童生徒に直接伝える。



災害時に避難所となる体育館
(防災訓練時の様子)

《Q》気象観測装置「ポテカ」の導入を検討すべき
《A》費用対効果なども含め、様々な面から研究する

高田 和登 議員（新しい風）



気象観測装置「ポテカ」の導入を
質問 市独自で、雨量、気温、湿度、気圧、風向風速、日射などの気象情報を把握すべき。
市長 今後、猛暑時の注意喚起を行う際にも必要となることから、測定方法や機器について検討する。

質問 最近の局地的豪雨ではアメダスの青梅観測所と羽村では気象が異なるが、どう対応するか。
市長 降雨予報は気象庁予報官から、直接、最新情報を収集して対応している。

質問 「ポテカ」はインターネットでも気象情報を市民に提供し、設置場所も電源



気象観測装置「ポテカ」と気象計部分の拡大

が不要のため、容易である。羽村市でも設置を検討すべきと考えるが。
市長 今後、提供サービスの内容、情報の活用方法などや、当市の地理的環境に合致するものであるか、また、費用対効果なども含め、様々な面から研究する。

新版「防災マップはむら」について
質問 「市章」が横長に変形しているが。
市長 今後、増刷や次回の修正等に合わせて調整する。

ラジオ体操の普及を
質問 健康寿命を延ばすため、昔から馴染んだ「ラジオ体操」の普及を。
教育長 運動のきっかけづくりに適しており、市民のスポーツ機会の拡大に努める。

質問 市でもNHK巡回ラジオ体操収録の申し込みを。
教育長 今後もうこうしたイベントの招致を検討する。



《Q》駐車場出入口等の見直しで利便性・安全性の向上を
《A》出口の増設や車両の駐車位置の見直しを検討

富永 訓正 議員（公明党）



スイミングセンターの駐車場対策について
 駐車場が満車で、路上で入庫待ちをすることがある。一般車・歩行者のスムーズな通行と安全への配慮を。
質問 施設駐車場の出入口直近にはバス停留所があり、入庫待ちや送迎車両等が停車し、バスの正常運行や一般車両の通行に支障が生じる場面が見受けられる。また、利用可能な近隣小学校・特別支援学校・動物公園駐車場があるが、施設利用者どう周知しているか。
教育長 路線バスや一般車両の通行を妨げることのないよう、隣接する施設の駐車場への誘導を迅速に行うよう努め、周知していく。

質問 バス停留所付近での『待機・駐車禁止』、駐車場の『満車』、他の駐車場への『迂回案内』など利用者にとって見やすく駐車場の現状を把握しやすい看板・表示板等の設置をしては。
教育長 バス停付近への駐



スイミングセンターの駐車場出入口付近とバス停

停車禁止、駐車場の状況と他の駐車場への誘導に関する表示をよりわかりやすくするよう取り組んでいく。
質問 駐車場の構造、配置、出入口位置等の見直しにより利便性・安全性の向上が期待できると考えられるが。
教育長 利便性と安全性の向上へ、駐車台数を確保しつつ、満車時に周辺駐車場への円滑な誘導で路上への駐車車が抑止できるように、出口の増設や車両の駐車位置の見直しを検討していく。

■その他の質問
 「命を守る防災・減災のために」
 QRコード

《Q》風水害時のタイムライン計画はどこまで進んだか
《A》時系列を含めた内容に整理していく

石居 尚郎 議員（公明党）



水害・土砂災害からどう命を守るか
質問 タイムラインの計画はどこまで進んだか。
市長 地域防災計画において、タイムライン的な考え方に基づく段階的な水防活動態勢をより強化していくため、時系列を含めた内容に整理していく。

質問 地区防災計画の作成や作成準備状況は。
市長 こうしたマニュアルの作成支援や、地域住民、関係機関との連携を深めていく。地区防災計画の必要性や対象地域など、地区防災計画作成の主体となる地域住民の皆様と協議していく。また必要に応じて地区防災計画の啓発にも取り組む。

質問 多摩川流域の自治体



羽村市地域防災計画

同士の連携は。
市長 河川管理者である「京浜河川事務所」及び、東京都を含めた「多摩川上流部 大規模氾濫に関する減災対策専門部会」において、国の水害対策に関する情報を共有している。他に、水防訓練や、啓発事業などの意見交換を行い、連携強化に努めている。

認知症ケアプログラム推進事業の導入について
質問 東京都が進める「認知症ケアプログラム推進事業」を羽村市は取り組むか。
市長 今後、市内の介護サービス事業所への事業内容の周知、事業への参加意向などを十分確認しながら、事業実施についての検討を進める。



《Q》羽村市内の生産緑地面積の5年間の推移は
《A》過去5年間で1.56ヘクタール減少している

橋本 弘山 議員（新政会）



羽村市内の農業の諸課題について

質問 生産緑地制度において2022年問題とはどのようなものと認識しているか。

市長 1992年に生産緑地指定を受けた農地が30年を経過し、所有者が一斉に自治体に買い取りの申し出を行うことにより生産緑地が減少する懸念のことである。質問 法改正で特定生産緑地制度が導入されたが、この制度をどう捉えているか。また、所有者の意向調査を実施し、将来的な都市計画に生かしていくべきと考えるが、市長 この制度は買い取り申し出の時期を10年延長す



市内の生産緑地指定を受けた農地

■その他の質問 「羽村市におけるペットの災害対策について」

熱中症対策について 今後、猛暑対策、熱中症対策は必須であるが、羽村市としての取り組みは、市長 市民への適切な情報提供を図り、自らが注意し、未然に防止できるようにさまざまな機会を捉え、熱中症予防の普及啓発、注意喚起に取り組んでいく。また、各地の暑さ対策の事例等については、関係部署と連携しながら今後研究していく。



《Q》幹線道路の石垣、崩れる危険性は
《A》精密で強固に構築されているが

富松 崇 議員（新政会）



震災時の幹線道路等について

質問 市内の幹線道路、特にJR青梅線西側にはいたるところで玉石の石垣がみられる。震災時に崩れる危険性について、市の考えは、市長 石積みの強度に関しては、特に基準はなく、石工の高い技術によって、精密で強固に構築されている。しかし、ブロック塀や

維持管理を行わないと、地震等で崩れる可能性が高くなると捉えている。質問 ブロック塀等の倒壊にまきこまれないよう、児童・生徒に対する指導は、教育長 地震が発生した場合には壁などに近寄らず近



市内の玉石の石垣

児童虐待防止に向けた取り組みについて

質問 児童虐待防止に向けた取り組みを、どのように図っているか。市長 「羽村市要保護児童対策地域協議会」を設置し、福祉医療、教育、警察などの関係機関等と連携し、児童の虐待防止、早期発見、早期対応を図っている。また、昨年度設置した「子育て世代包括支援センター羽つぴ」では、妊婦の全数面接や、乳児家庭全戸訪問事業を行うことにより、妊娠・出産に伴う育児不安を解消し、児童虐待防止に取り組んでいる。



《Q》洪水に備え河川整備や堤防かさ上げ等の対策強化を
《A》宮の下上流部堤防整備計画の早期具現化を働きかける

小宮 國暉 議員（新しい風）



市の水害対策強化に向けて

質問 羽中4丁目付近は平成19年9月の台風9号により、浸水被害を受けた地域である。洪水ハザードマップで示されている洪水・浸水想定区域を中心に、インフラ整備を今後強化する計画はあるか。市長 平成20年度、水上公園下の貯留槽に排水ポンプを1台増設し那賀樋管のかさ上げなどを実施。また、間坂交差点歩道拡幅工事に伴い、新たに雨水管を布設する計画を東京都と調整し、雨水流出の軽減を図っていく。質問 洪水に備え、河川整備や宮の下運動公園上流部の堤防等の対策強化を。市長 国土交通省が策定した「多摩川水系河川整備計画」は堤防の改修などのハード対策が示されている。早期具現化に向けて働きかけに努める。

質問 羽加美四丁目（根がらみ前水田）付近で洪水被害が発生した場合、市の水源機能が失われる危険性がある。緊急時に東京都から水道の供給を受けることになっっているが訓練等を実施したことはあるか。市長 災害時におけるバックアップ用の水を確保するために、「東京都と羽村市との間における暫定分水に関する協定」を締結。東京都小作浄水場から直接第1・第2配水場に連絡管を備え、毎年東京都の職員と通水の確認、点検を実施している。



平成19年9月の台風による羽中4丁目付近浸水被害

■その他の質問 「さらなる市民活動の充実に向けて」「子どもたちの心の教育の充実について」



《Q》人権侵害で地権者が国や都・警察に訴えた。対応は
《A》国・都から連絡を受けた。誠実に真摯に対応している。

山崎 陽一 議員（世論）



区画整理撤回要求第46弾

質問 区画道路は現状より移動。地権者は使えるか。市長 築造する区画道路を従前の土地の方が利用できるとの配慮、整備する。質問 3回にわたり家屋調査を強要された。市長の言う協議移転に矛盾しないか。市長 家屋調査の基本的流れに沿った説明の訪問であり、強要ではない。質問 事業は平成33年度で終了する。国・都と計画変更交渉を継続中か。市長 事業進捗や財政状況等を勘案しつつ、協議を進めている。平成32年度以降を目的に、示していく。



道路予定地に貴重な縄文土器

行政文書への西暦併記を

質問 行政文書への年号表記は法律での規定か。市長 法令に規定は無く各官公庁の判断。羽村市は慣行で原則元号。西暦併記も可能。



《Q》オスプレイの飛行高度が低すぎると認識しているか
《A》低く飛んでいるとの指摘を把握している

鈴木 拓也 議員 (日本共産党)



CV 22 オスプレイ

質問 飛行高度が低すぎると認識しているか。
市長 市に寄せられた「低く飛んでいる」との指摘を把握している。ご意見はその都度、国に対し申し入れをしている。
質問 CV 22 オスプレイの

オスプレイの訓練・配備にはつきり反対を
質問 オスプレイが、市街地上空での旋回訓練を繰り返している。市の見解は。
市長 オスプレイは6月23日以降長期間とどまり、自治体への情報提供もないまま、飛行を繰り返している。基地周辺での飛行を最小限にすることなどを要請している。

「昭島市のごみ受け入れ反対」の声がどうなるのか?
質問 昭島市のごみ受け入れについて、市や西多摩衛生組合で、その後、決まった事はあるか。
市長 決定した事項はない。

質問 昭島市のごみ受け入れ反対の声がどうなるのか?
市長 昭島市のごみ受け入れについて、市や西多摩衛生組合で、その後、決まった事はあるか。
市長 決定した事項はない。

《Q》生活困窮者にクーラーと冷房費を給付すべき
《A》国に対して、給付するよう働きかける考えはない

浜中 順 議員 (日本共産党)



熱中症対策の強化を
質問 今年度新たな生活保護受給者は、冷房器具が給付となったが、その他の生活保護受給者や生活困窮者に冷房器具と冷房代(電気代)の給付を市は国に働きかけるべきと考えるがどうか。
市長 冷房器具や冷房代の給付を国に働きかけることや、市で対策を立てる考えはない。

公共施設の改修の充実を
質問 羽村市は、周辺自治体と比べて公共施設の老朽化率が高い。公共施設を活用できるかどうかは、市民の日常生活にとって重要である。
質問 水道の配水管の破損事故がここ数年、毎年数件あると聞く。地震時の断水等を考え、配水管の耐震化率(20・5%)の低さや漏水対策を早急に改善すべきと考えるが。



水道事務所

熱中症対策の強化を
質問 今年度新たな生活保護受給者は、冷房器具が給付となったが、その他の生活保護受給者や生活困窮者に冷房器具と冷房代(電気代)の給付を市は国に働きかけるべきと考えるがどうか。
市長 冷房器具や冷房代の給付を国に働きかけることや、市で対策を立てる考えはない。

公共施設の改修の充実を
質問 羽村市は、周辺自治体と比べて公共施設の老朽化率が高い。公共施設を活用できるかどうかは、市民の日常生活にとって重要である。
質問 水道の配水管の破損事故がここ数年、毎年数件あると聞く。地震時の断水等を考え、配水管の耐震化率(20・5%)の低さや漏水対策を早急に改善すべきと考えるが。

《Q》羽村・昭島両市長が出席する市民説明会を
《A》改めて市民説明会は開催しない

門間 淑子 議員 (市民ネットワーク「いきいき広場」)



動物公園通りの
一層の安全対策を
質問 東芝青梅工場跡地の物流倉庫の利用が開始されると、大型車の通行が懸念される。速度制限・大型車規制が継続するよう、東京

昭島市の可燃ごみ受け入れは慎重に
質問 4月19日の説明会に対して、昭島市がどのように受け止めたか聞いていますか。
市長 聞いていない。
質問 これまでの説明で、周辺住民の理解が進んだと認識しているのか。
市長 羽村・瑞穂両協議会から西多摩衛生組合に対し、ごみ量増加に伴う要望を付け、一定の理解をするとして書面が出されていることから周辺住民の理解促進が図られていると捉えている。
質問 青梅市、福生市、瑞穂町では、住民への情報提供はどのように進められているか。
市長 広報紙とウェブサイトで情報提供している。

動物公園通りの
一層の安全対策を
質問 東芝青梅工場跡地の物流倉庫の利用が開始されると、大型車の通行が懸念される。速度制限・大型車規制が継続するよう、東京



動物公園通り改修工事の際、地元町内会や小学校PTAから規制継続の要望があり、福生警察署に要請した結果、現在も規制が継続している。変更や解除は、周辺住民や沿道事業者の意見を踏まえて判断されるが、市内企業の物流の重要な路線であり、さまざまな観点から検討して行く必要がある。



速度制限・大型車規制継続中の動物公園通り

《Q》つきまといななどの犯罪が多い原因は何か
《A》原因の特定には至っていない

印南 修太 議員 (新政会)



小作駅周辺をパトロールする市民ボランティア

女性や子どもに対する犯罪対策について
質問 羽村市が福生署管内で前兆事案が一番多く発生している原因は何か。
市長 前兆事案(子どもや女性に対する「声かけ」や「つきまとい」など)は、場所は道路や公園等が多く、時間帯は夕方から夜に多く発生しているが、福生警察署では原因の特定には至っていない。
質問 小学校の通学路への防犯カメラ設置数が、福生署管内で最も少ないことの影響はないか。
市長 防犯カメラの設置台数のみで犯罪発生への影響があるかどうかを判断する

女性や子どもに対する犯罪対策について
質問 羽村市が福生署管内で前兆事案が一番多く発生している原因は何か。
市長 前兆事案(子どもや女性に対する「声かけ」や「つきまとい」など)は、場所は道路や公園等が多く、時間帯は夕方から夜に多く発生しているが、福生警察署では原因の特定には至っていない。
質問 小学校の通学路への防犯カメラ設置数が、福生署管内で最も少ないことの影響はないか。
市長 防犯カメラの設置台数のみで犯罪発生への影響があるかどうかを判断する

コミュニティバスはむらんに
質問 今後、羽村駅西口駅前にはむらん以外の公共交通が運行する予定はあるか。
市長 平成18年にタクシ一の乗降スペースを設けるなど、駅前広場整備の基本設計案を取りまとめたが、交通環境も変化しているため、再度具体的な設計を行っていきたい。
質問 今後5年間で急速充電器や蓄電池など、電気バスに新たにかかる費用はあるか。
市長 急速充電器については、市の負担として1千万円程度かかるものと見込んでいる。

コミュニティバスはむらんに
質問 今後、羽村駅西口駅前にはむらん以外の公共交通が運行する予定はあるか。
市長 平成18年にタクシ一の乗降スペースを設けるなど、駅前広場整備の基本設計案を取りまとめたが、交通環境も変化しているため、再度具体的な設計を行っていきたい。
質問 今後5年間で急速充電器や蓄電池など、電気バスに新たにかかる費用はあるか。
市長 急速充電器については、市の負担として1千万円程度かかるものと見込んでいる。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

平成30年8月1日～10月31日の主な活動

8月

- 2日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 10日 平成30年度東京都市議会議長会定例総会
- 21日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長東京都・国への陳情行動
- 27日 第6回議会運営委員会

9月

- 4日 第7回議会運営委員会
第3回羽村市議会（定例会）初日
第7回広報委員会
- 6日 第3回羽村市議会（定例会）2日目
- 7日 第3回羽村市議会（定例会）3日目
- 10日 一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
第10回議員全員協議会
- 11日 第3回羽村市議会（定例会）4日目
第3回総務委員会
- 12日 第3回厚生委員会
- 13日 第3回経済委員会
- 18日～20日 一般会計等決算審査特別委員会
- 26日 第8回議会運営委員会
- 27日 第8回広報委員会
- 28日 第3回羽村市議会（定例会）最終日

10月

- 3日 羽村市議会議員と北杜市議会議員との交流会
- 4日 行政視察受入れ（あきる野市議会）
- 9日 第9回広報委員会
- 10日 行政視察受入れ（長野県岡谷市議会）
- 11日～12日 第80回全国都市問題会議（新潟県長岡市）
- 15日 総務委員会行政視察（福生市）
- 16日～17日 厚生委員会行政視察（青森県六ヶ所村・青森市）
- 16日～18日 経済委員会行政視察（石川県小松市、富山県高岡市・富山市）
- 17日 総務委員会行政視察（日野市）
行政視察受入れ（愛知県日進市議会）
- 18日 総務委員会行政視察（八王子市）
- 22日 羽村市議会議員研修会（自治法改正による自治体の内部統制強化の今後について）
- 23日 第29回東京都道路整備事業推進大会
- 29日 平成30年度西多摩地区議長会研修会
西多摩地区議長会定例会議
- 30日 行政視察受入れ（鹿児島県始良市議会）
平成30年第2回東京たま広域資源循環組合議会（定例会）



10月3日、北杜市で北杜市議会議員との交流会を行いました。



9月28日、議会改革推進委員会から議会改革についての後期報告が出されました。（左から山崎委員長、富永副委員長、小宮副議長、馳平議長）

《Q》学校閉庁日の試行結果は

《A》8月の3日間 3つの小学校で実施

水野 義裕 議員（羽村21）



各小中学校に設置されたタイムレコーダー

教育委員会の施策について
質問 「学校閉庁日」の状況は。
教育長 羽村東小、富士見小、松林小学校の3校で、本年8月13日（月）～15日（水）の3日間試行した。実施にあたっては、各学校が閉庁日実施に関する文書を作成し、保護者や地域に周知した。この3日間は、原則として教職員は出勤せず不在となるので、緊急な用件がある場合は教育委員会へ電話連絡するように学校が作成した文書に記載し、教育委員会で緊急対応を図るようにしたが、3日間を通して問合せ等はなかった。

質問 今後どうするか。
教育長 今後、成果や課題を分析し、次年度の実施の可否や実施する場合の回数等を検討していく予定。
質問 学校へのタイムカードの導入時期とその活用は。
教育長 本年8月末までに各小中学校にタイムレコーダーを設置し、9月から運用を開始した。在校時間のデータについては、教員自らタイムカードを打刻することで、教員が在校時間に対する自己管理意識を持つ。同時に、学校管理職は教員の在校時間を把握し、校務改善やメンタルヘルスケアの充実、長時間労働の抑制に必要な指導・助言を行うために活用する。



■その他の質問 「羽村駅西口土地区画整理事業の今後は3」「策定した計画の評価や公開などについて」

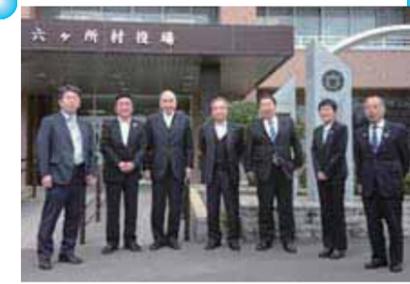
議会活動アルバム



10月18日、総務委員会が学校教育について八王子市立高尾山学園を視察しました。



10月16日～18日。経済委員会が商業及び観光振興について石川県小松市、富山県高岡市・富山市を視察しました。



10月16日～17日。厚生委員会が市民の健康管理及び環境保全について青森県六ヶ所村・青森市を視察しました。

行政視察について詳しくは、「ぎかいのトビラ」2月1日号に掲載する予定です。

しぎかいカレンダー

● 12月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
11/18	19	20	21	22	23	24
				陳情 [◇]		
25	26	27	28	29	30	12/1
	議運					
2	3	4	5	6	7	8
		本会議	本会議	本会議	本会議	
9	10	11	12	13	14	15
		予特 (補正)	常任委	常任委		
16	17	18	19	20	21	22
			本会議			
23	24	25	26	27	28	29
30						

- 陳情[◇]…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
 - 議運…議会運営委員会
 - 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
 - 予特（補正）…一般会計等予算審査特別委員会
- * 会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は 12月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ーライブで！**
当日、直接議場へおいでください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
TCN多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

第六次議会改革推進委員会で検討してきた議会報告会を7月にタウンミーティングとして実施しました。市民の皆さまに市議会をもっと身近に感じてもらうこと、市民の皆さまの声を聞くことを目的とした羽村市議会タウンミーティング。議員それぞれが他自治体の議会報告会を視察し、参考にしながら羽村らしさも加えた内容となりました。周知の方法や日程・会場の選択等、いろいろと反省点もありましたが、今後の開催につなげていきたいと思えます。

これまで、表紙と特集は市民インタビューを掲載していましたが、今回は羽村市議会タウンミーティングの特集記事を掲載しました。

(富松)

【広報委員会委員】

小宮 國暉 (委員長)
山崎 陽一 (副委員長)
浜中 順 印南 修太
富松 崇 中嶋 勝
大塚あかね 西川美佐保

発行／羽村市議会 編集／広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889

Tel 042(555)1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトピラ」は、再生紙を使用しています。